



辺野古の海兵隊基地

沖縄県名護市瀬嵩^{せだけ}
名護学院跡地から
二〇一五年七月

目の前の右の丘に弾薬庫の入口がある。近くの道を弾薬輸送中と表示した米軍の車列が通る。背後の山で砲弾の炸裂した煙が上るとドーンと空気が震える。

弾薬庫から左に岬の先までが海兵隊基地「キャンプシュワブ」。岬の前後の珊瑚の海、ジュゴンの棲む海一・六平方キロを埋め、普天間より遙かに大きな基地とするとどうう。

「沖縄の二紙をつぶせ」だって・・・

元NHK経営委員の百田氏や自民党の大西議員などが、沖縄の地方新聞「沖縄タイムス」と「琉球新報」の二紙をつぶせ・・・と大合唱。

左にある様に、二紙は猛反発。何故か？もし、猛反発しなかったら、読者から見放されるから。

米軍占領下での歴史

米軍占領下、新聞用紙を配給することで米軍は新聞を統制。しかし、用紙の配給を受ける為、米軍におもねった新聞は県民に嫌われた。十紙以上



岬の左の細長い島は「ヤシガニ」が棲み、灯台のある長島。普段はこの島の手前から抗議船の進入を防ぐフロントフェンスがある。この日は台風に備え、ボーリング調査の台船も含めて殆ど撤去。

遙か沖の平安座島の多数のタンクは総容量四五〇万立方メートルの原油備蓄基地。ホルムズ海峡封鎖への備え。それなのに安倍は騒ぐ！？

が、読者がいなくなつてつぶれてきたそう。

二紙の論調は沖縄の世論

安倍自公政権は普天間基地の辺野古への強化拡大移設計画を推進。しかし、沖縄の世論は、それを拒否している。

もし、安倍政権に迎合して辺野古移転推進の論調にしたなら、読者から見放され、つぶれる。二紙の論調に文句をつけるより、沖縄に向き、沖縄の民衆の声に真摯に耳を傾けるべきだ。

みなさんはどう思われますか。

